

まじゅん



沖縄県商工会連合会 会報誌

1

2016
月合併号
No274



賀正



contents

- 02 ● 新年の挨拶
- 05 ● 久米島アンテナショップオープン
- 06 ● 県青連設立40周年記念式典
- 07 ● 青年部・女性部合同事業
 - 地域ビジネス力強化支援事業
- 08 ● 全国大会
- 09 ● 全国物産展
- 10 ● 戦略的経営管理普及促進支援事業 ● 持続化補助金事例紹介



沖縄県商工会連合会
会長 當山 憲一

年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。平成二十八年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、アベノミクス効果により景気が回復基調となり、県内におきましても観光入域客数の増加に後押しされた個人消費や建設関連事業の伸びにより景況は堅調に推移してまいりました。



沖縄県知事
翁長 雄志

年頭あいさつ

はいさい、ぐすーよー、ちゅうがなびら

新年明けましておめでとうございます。

商工会会員の皆様におかれましては、気持ちも新たに、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年

政府の施策におきましても、小規模企業振興基本法に基づく小規模事業者の持続的発展を基本原則とした施策が展開され、そのひとつとして小規模事業者持続化補助金の大幅な拡充などが実施され、今後も地方創生への取り組みに対する支援策などとともに積極的な施策展開が期待されます。しかしながら、一方では消費税の増税に伴う影響が懸念され、地域の小規模事業者にとっては先行きの不安感はぬぐえない状況にあります。

そのようななか、本会では、県の補助事業として地域ビジネス力強化事業や地域活用販路拡大事業などの新たな事業を取り入れ、各種の施策とともに積極的に活用しつつ、市町村商工会との連携のも

中は、本県の中小企業・小規模事業者支援施策に格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

沖縄県商工会連合会におかれましては、日頃から巡回訪問等により事業者の相談に応じ、きめ細やかな支援を行うとともに、資金調達の斡旋など小規模事業者への経営改善普及事業等に精力的に取り組まれ、地域の商工業及び県内産業の発展に多大な貢献をされておりますことに深く敬意を表します。

全国的に商工会会員数が減少傾向にある中、沖縄県の商工会会員数が増加傾向にありますのは、沖縄県商工会連合会が実施されている県内小規模事業

と、地域の小規模事業者の経営改善に資する事業を展開して参りました。

なかでも、県産業まつりと同時開催した商工会特産品フェア「ありんくりん市」におきましては、各市町村商工会から多数の選りすぐりの商品が出店され、売上高も大幅な伸びを示し、商工会の存在感を示すことができました。

さらに、11月に東京池袋で開催された全国物産展の「全国おやつランキング」におきましては本部町商工会会員のアセローラフレッシュがグランプリを獲得し、さらに全国むらおこし特産品コンテストでは宜野湾市商工会会員の琉球インタラクティブ(株)が審査員特別賞を受賞し、それらを支援する商工会におきましても大きな実績となりました。

者に対する積極的かつ献身的な支援の賜物であり、皆様の御尽力に深く敬意を表します。

さて、昨年の県内の景気は、好調な観光関連を背景に個人消費や建設関連が堅調に推移し、雇用情勢についても、完全失業率及び有効求人倍率が改善を続けてきたところです。

今後は、この景況感の好転を全産業へとつなげ、県経済を中長期的な成長軌道に乗せていくことが重要であり、県では「沖縄21世紀ビジョン実施計画」に基づき、中小企業者の経営基盤強化、資金調達の円滑化等の総合的な支援策を展開しているところであります。

また、昨年「沖縄県アジア経済戦略構想」

今年、平成二十八年におきましても、本会は会員数2万人を超える総合経済団体として、会員の皆様とともに行政当局をはじめとする関係各位のご理解とご協力のもと、地方創生の担い手として、地域における多くの課題の解決に向け、より一層の積極的な施策の活用と事業展開を図るとともに、「すべては会員のために」、地域振興の主役であり続けるために」の基本理念のもと、巡回指導の強化や人材育成を図り、会員の皆様の多様なニーズに対応し、会員満足度の向上に努めて参ります。

結びに、会員の皆様並びに関係各位にとりまして申年の本年が明るい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

平成二十八年 元旦

を策定し、目覚ましく発展するアジアのダイナミズムを県経済に取り入れるため、様々な施策を講じてまいります。

沖縄県商工会連合会におかれましては、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の振興に引き続き御尽力下さりますとともに、県勢の更なる発展のため、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、沖縄県商工会連合会並びに会員の皆様にとって本年が明るく希望に満ちた年となりますよう心から祈念申し上げます。

くとうしん、ゆたさるぐとう、うにげーさびら

平成二十八年 元旦



内閣府沖縄総合事務局長

久保田 治

新年の祝辞

新年明けましておめでとうございます。平成二十八年の新春を迎えるに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

さて今般、日本経済は、ローカル・アベノミクスの実現に向けた様々な取り組みにより、経済の勢いを着実に回復させて来ています。とは言え、まだ

日本全体が新たなステージに到達するには、更なる努力が必要です。「小規模企業振興基本法」が施行されて三年目となりますが、このような小規模企業に力点を置いた施策は、事業者の活力を最大限に発揮するとともに、地域を支え、経済の好循環を隔々まで届ける重要なツールであると認識しております。

地域を活性化するプレーヤーは、紛れもなくその土地に暮らす人々であり、その中心に位置するのが商工会とその会員の皆様であります。その支援策として政府では、昨年「経営発達支援計画」制度をスタートさせました。商工会の皆様には、ビジネスプラン等に基づ

く経営や、高付加価値・新たな価値を持つ事業を、事業者の方々に打ち込んでいくような計画を策定していただくことで、新たな気付きとモチベーションを生み出し、最終的には地域の総力を挙げた支援体制を構築して貰いたいと考えております。また、多様な事業者を巻き込み、地域ブランドの育成・強化を図り、地域の売上や雇用の増大に繋げるため、各商工会と市町村が連携しながら「ふるさと名物応援宣言」を行っていただくことを推進してまいります。

沖縄総合事務局においても、「沖縄成長産業戦略」等に基づき、地方創生のための各種施策や沖縄振興施策等によ

り、沖縄における観光や経済産業振興等に努力をしております。今後とも、沖縄の持つポテンシャルを最大限に活かすべく、様々な施策を通じて、皆様の活動を支援していく所存でおります。最後に、本年が沖縄県商工会連合会及び各商工会員の皆様、中小企業・小規模事業者の皆様にとって大きな飛躍の年となるよう祈念し、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十八年 元旦



全国商工会連合会
会長 石澤 義文

年頭にあたつて

新年明けましておめでとうございます。平成二十八年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の我が国経済は、アベノミクス効果による回復基調からアジア経済の減速等により、景気が足踏み状態となりました。今年は東京五輪開催まで四年となり、公

共投資が活気づくことに加え、五月には伊勢志摩サミットが開催されるなど、昨年以上に訪日観光客が増加することが見込まれ、景気はゆるやかながらも回復することが期待されます。

全国商工会連合会では、平成二十七年度を「小規模企業振興元年」と位置付け、小規模企業振興基本法や改正小規模事業者支援法を踏まえた積極的な対応や、地方創生への主体的対応を行うこと等を重点計画に据え、事業を実施してまいりました。小規模事業者を支援するための法律が制定されたことによる成果のひとつとして「地産地販施設の整備費」や「小規模事業者持続化補助金」が大幅に拡充され、新しく地域資源を活用した商品な

どの開発等に対する取り組みを支援する「ふるさと名物応援事業」などの新しい事業も実施されました。

今年はいくつかの点で、中小企業・小規模事業者にとっての大きな変化が実現しています。まず、これまで以上に、中小企業・小規模事業者が「経営発達支援計画」の認定を受けており、認定された事業者は、各都道府県商工会連合会とも連携してまいります。

また、職員の資質向上や、支援サービス充実、懸命に取組み、原材料、人件費高に苦しむ中小企業・小規模事業者の生産性向上にも寄与していく所存です。

あわせて地域の振興・創生の中心的役割を担うことで「信頼される商工会」「頼りにされる商工会」を目指してまいりますので、引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、今年が明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

平成二十八年 元旦

今年も実り多き一年でありますように。



沖縄振興開発金融公庫
理事長 譜久山 當則

新年の祝辞

新年あけましておめでとうございます。

沖縄県商工会連合会及び各商工会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、近年の沖縄経済は外国人観光客の増加や国際物流の拡大、情報ネットワークの拡充等、島嶼経済からの脱却



沖縄県商工会青年部連合会
会長 西表 晋作

新年の祝辞

皆様あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より、青年部活動への多大なるご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

私たち青年部では、『一燈照隅（いっ

に向け積極的に外需を取り込む動きが見られます。当公庫を始め各種の景況調査が示すように、堅調な観光需要の拡大に牽引され、個人消費や建設投資が底堅く、拡大基調で推移しており、企業マインドも堅調です。一方で、「人手不足」や「原材料高」等の供給ネットワークも浮上してきましたが、現在の需要拡大局面は、企業にとって成長投資の好機であることは間違いありません。それぞれの事業・業態の課題克服に向けて生産性を高めるための投資が望まれます。

こうした中、沖縄公庫は、各地域の商工会と連携し、融資制度説明会や出張相談会等を積極的に開催するなど、中小・小規模事業者への円滑な資金供

としようぐう）万燈照国（ばんとうしょうこく）をスローガンとして、諸事業に取り組んでいます。昨年は、県青連設立四十周年の節目の年であり、各種の記念事業を実施いたしました。青年部と女性部の合同で行った「いのちのりレー24時間」飲酒運転根絶チャリティーIN2015は、24時間の間、継続してタスキを繋ぎ一致団結し成功することが出来ました。長年の目標であった女性部との合同事業が出来た事は非常に意義深いものとなりました。また、青年部として、地域経済を牽引するリーダー育成のためのトップセミナーの開催や、地域との「絆」を確認し、さらに強化することを

給に鋭意取り組んでまいりました。

おかげさまで、今年度も多くの事業者に小規模事業者経営改善資金貸付（マル経資金）と沖縄雇用・経営基盤強化資金（沖縄資金）をご活用いただいております。これもひとえに、沖縄県商工会連合会と各商工会の皆様のご協力と、経営指導員の皆様の日頃の親身なご活動の賜物であり、公庫と緊密に連携いただいていることについて、あらためてお礼申し上げます。

沖縄公庫は、総合的な政策金融機関として、今後ともより一層皆様との連携を深め、事業者の皆様の多様な資金ニーズに迅速かつきめ細かに対応するよう努めてまいりますので、引き続きお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

目的に全国の青年部員が統一実施するクリーンアップ事業に取り組んだほか、若い経営者の主張発表県大会の開催、青年部九州大会や全国大会への参加、青年部ネットワークを生かした義援金活動などによる被災地域の青年部等への支援、経営力の向上を図るための経営革新塾の開催、部員増強運動など精力的に事業を実施してきました。

今年の目標として、平成二十九年度の青年部全国大会招致を実現すべく、二月には、招致のプレゼンテーションがあり、それに向けての準備をしなければなりません。全国大会招致は、地域経済に大きな波及効果が期待されます。親会の協力や国、県の協力が必要

ます。

結びに、沖縄県商工会連合会と各商工会の益々のご発展と、会員事業所の皆様の益々のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げます。

平成二十八年 元旦

不可欠なものであり、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これから我々商工会青年部は、地方創生の先駆者として「かけがえのない人たちと、かけがえのない地域の為に」という、その使命を果たすべく、先人の教えに学びつつ未来に向けた活力ある社会の創出に向けて取り組んでいく所存でございます。

結びに、今年も部員のご商売が、益々繁盛されますよう、併せて皆様にとつて健康で明るい一年でありますよう心より祈念いたしまして、新春のあいさついたします。

平成二十八年 元旦



沖縄県商工会女性部連合会
会長 長浜 栄子

新年の祝辞

平成二十八年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、商工会女性部連合会に格別なるご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、小企業・小規模事業者においては、景気回復の実感はまだ十分浸透しておらず、引き続き厳しい経営環境の中、これまで以上に努力しなければ

ならない状況にあります。

そうした中、商工会女性部は、更なる資質の向上と自己研鑽を目指し、事業を実施して参りました。

提案公募型・広域連携事業では、市町村商工会女性部において、自ら企画・立案した研修事業等を行っております。

七月に熊本県で行われた九州ブロック商工会女性部交流研修会、十月には東京と新潟県佐渡島で行われた商工会女性部全国大会に参加し、研修会の中で相互研鑽や交流を重ね、資質向上を図ると共に、全国の部員との絆を深めました。

又、女性部の絆は強く、東日本大震災等をはじめ、ここ数年全国各地で頻発する自然災害等に対し、全国の女性部ネットワークを活かした、全国統一積立基金事業で、全国の仲間との助けあいの気持ちを大切に、義援金等を通

じ被災地の女性部への支援活動を継続して実施しております。

十一月には、新たな試みで沖縄県商工会青年部設立四十周年にあたり、青年部と女性部の合同事業として、「いのちのりレー24時間」飲酒運転根絶チャリティー事業を実施し、誰もが安心して安全に歩道を歩ける環境と、運転手も歩行者も笑顔が絶えない社会の実現を目指し、飲酒運転根絶への県民の理解を深める事を目的に、盛会裡に実施できたことは大変意義深いことであったと思います。

地域の人たちが、豊かで安全に、幸せを感じられるための活動を今後も連携して実施していけたらと思います。

また、組織力向上を目的に、部員数一千人を目標にして、部員増強運動を実施しております。

女性部未設置地区は東村、大宜味村、

与那国町の三町村となりましたが、商工業に携わる女性が皆商工会女性部員として活動が出来るよう、さらに、明るく元氣な女性部員が地域経済を一層盛り上げられるよう、これからも設立支援を続けて参ります。

最後になりましたが、本年も商工会女性部は、女性らしい感性と特性を活かした事業で、部員一人ひとりが働く喜びを実感し、地域経済の振興発展と社会一般の福祉の増進に取り組み、豊かなまちづくりの担い手となるよう努めますので、皆さま方のご支援とご協力をお願いするとともに、市町村商工会女性部並びに部員の皆様の更なる飛躍とご多幸を祈念申し上げます。

平成二十八年 元旦

久米島 アンテナショップ

本年度、久米島商工会では、全国商工会連合会による中小企業・小規模事業者が開発した地域特産品等を共同で販売する拠点を設置し、販売や支援を実施し、地元事業者の商品展開力・販売力の向上を目的とした補助事業「共同販売店（アンテナショップ）」による地域産品等の販路開拓支援事業」を活用し、東京都杉並区阿佐ヶ谷のパールセンター商店街内に「久米島印商店」を8月22日

オープンさせた。本ショップは「久米島の食を通して、久米島の魅力を伝える」をコンセプトに、イトインコーナーと物販コーナーを併設。フードメニューには、久米島そばや車海老の素揚げ、マンゴーミルクかき氷等、久米島の食材と調味料を活かしたメニューを提供。物販では、海ぶどうや冷凍活メ車海老を始め、調味料や菓子類、泡盛、海洋深層水使用の化粧品、久米島紬の小物等を取り揃えている。本事業は平成28年2月末となっており、それまでの期間限定での営業となっている。



今年も実り多き一年でありますように。

祝

沖縄県商工会青年部連合会四十周年記念式典

沖縄県商工会青年部連合会(西表晋作会長)は十一月十七日、設立四十周年記念講演会・式典・祝賀会をNBCサムシングフォー西崎で開催した。多くの来賓や商工会会長をはじめ青年部OBの方々、青年部員と二五〇名を超える参加があり盛会に行われた。

青年部は、昭和五十年に設立され、現在では商工会すべてに青年部を擁する組織として発展を遂げている。

式典では、第十七代会長宮平孝也氏、第十八代会長上原直彦氏、第十九代会長高里健作氏、第二十代会長山川宗仁氏、第二十一代会長古波蔵善之介氏の五名に、青年部活動の発展に大きく貢献した功績を讃えて感謝状と記念品を贈呈した。式典に先立ち行った講演会では、県青連第七代会長の幸地進氏による「全国初の発想と仲間力、青年部



総務事務局中程次長



県連富山会長



植村全青連会長



県青連西表会長



第7代会長幸地氏



県女連長浜会長



玉城会長(糸満市)



糸満市杉浦副市長



歴代会長の皆さん



受賞者の皆さん



集合写真

「全国初の青年部マニュアル」をテーマにご講演をいただいた。幸地氏は、県青連会長時代(昭和五十六年度)に青年部活動をする際、体験・経験の蓄積が体系化されていないと感じ、全国で参考になるものを探したが見当たらなかった。無ければ、「作るしかない」と県青連の仲間たちと情熱をもって「全国初の青年部マニュアル」の作成に取り組んだ事を、当時を振り返りながら熱く語られた。(完成させたのは第八代会長の照屋義美氏)現役の青年部員は大先輩の話しを真剣に聞いて、非常に為になる講演会であった。

祝賀会では、糸満市商工会女性部の幕開けや青年部による余興で盛り上がった。

小規模企業の経営者の皆さまへ

退職後のゆとりある生活のために **小規模企業共済制度**

先行き不透明なこの時代。
退職後の生活資金は万全ですか？

経営者の皆さま。退職金の準備を中小機構がお手伝いします。

小規模企業共済制度に加入し、毎月掛金を納付すれば、退職時に共済金が支払われ、現役引退後も安心した生活設計が立てられます。

- ①常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業は5名以下)の個人事業主、共同経営者、及び会社等役員の方が対象です。
- ②掛金月額は1,000円～70,000円の範囲内(500円単位)で自由に選べます。
- ③毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば課税対象所得400万円の方なら約11万円の節税になります。
- ④いざという時に掛金合計額の一定の範囲内で事業資金等の貸付けが受けられます。

●本制度の詳細内容は、ホームページまたはパンフレットをご覧ください。

制度の運営機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構 TEL：050-5541-7171(共済相談室)

小規模企業共済

検索

●中小企業・小規模事業者ビジネス創業等支援事業～支援ポータルサイトが立ち上がりました。～

中小企業診断士、税理士や弁護士、公認会計士、司法書士、社会保険労務士、等の専門家に直接ご相談できる機会を設けています。(専門家派遣事業)

青年部・女性部合同

「いのちのリレー 24時間」飲酒運転根絶チャリティー in 2015

沖縄県商工会青年部設立 40周年にあたり、青年部と女性部の合同事業のとして、11月22日正午から翌日正午にかけて「いのちのリレー 24時間」飲酒運転根絶チャリティー in 2015を宜野湾市海浜公園多目的広場で開催した。誰もが安心して安全に、歩行者も運転手も笑顔が絶えない社会実現を目指し、予算が全くない状況からスタートした。賛同する事業所や個人に事業の趣旨を説明し協賛金を集め運営資金を捻出した。当日には、部員を中心にポロシャツを販売し、収益金を沖縄県交通遺児育英会への寄付を予定。初の試みであり、今回は青年部、女性部と、その家族や知人に声をかけ参加者を募った。会場では、ステージイベントや交

通事故加害者による講話、宜野湾警察署と全国運転代行協会沖縄支部によるパネル展などもあった。夜間のリレーは各市町村の青年部員とその家族が担当する出走時間を決めタスキをつなぎ続けた。フィナーレには、多くの青年部と女性部が駆けつけ無事終了すること
ができ、達成感で参加者に一体感が生まれ、飲酒運転根絶を胸に刻む良い機会となった。



渡真利県警交通部長



佐喜眞宜野湾市長



集合写真



ゆるキャラも参加



ルミナリエメッセージ



ステージの様子



リレーの様子

よみたん夜あかりプロジェクト

「琉球ランタンフェスティバル」の点灯式

読谷村地域活性化連携体（構成メンバー：読谷フルリゾート沖縄、FMよみたん、読谷村役場、読谷村商工会、読谷村観光協会は、去る12月1日に体験王国むら咲むらにおいて、「琉球ランタンフェスティバル」の点灯式を行った。地域ビジネス力育成強化支援事業補助金（採択テーマ：よみたん夜あかりプロジェクト）を活用し、12月から3カ月間、「琉球ランタンフェスティバル」を開催予定。

この「琉球ランタンフェスティバル」は、中国では旧正月を祝う行事「春節祭」に花燈（装飾ランタン）を盛大に飾られている世界でも有数のイベントを参考に企画。

体験王国むら咲むらの広場には、琉球王をモチーフに台湾で製作された高さ8mの大型ランタン、琉球舞踊やエイサーの中型ランタンが設置され、また、園内全体には700個の中華提灯や、手作り提灯、子供たちの願いが

書かれた和紙の燈籠などが園内を明るく照らしている。

読谷村地域活性化連携体では、今後、読谷村や周辺市町村に宿泊する観光客が比較的自由行動をとりやすい夕食から夜間の時間帯を読谷村のあかりで楽しんでもらう観光イベントとして定着させるため、地域の観光名所やホテルをはじめ、中小企業・小規模事業者や自治会などにもあかりの輪を広げ、読谷村全域を、あかりで彩る予定である。

地域ビジネス力強化支援事業では、読谷村地域活性化連携体「よみたん夜あかりプロジェクト」の取り組みが、読谷村への観光入域者の増加や、それに伴う地元小規模事業者の売上増加などの波及効果が得られるよう、連携体の活動を補助し、地域連携コーディネートターがハンズオン支援を実施している。



点灯式の様子



ゲート入り口



ランタンで飾られた会場

第55回 商工会全国大会が開催される

第55回商工会全国大会が、11月19日にNHKホールにおいて、商工会関係者約3,000人が参加して開催された。沖縄県内からは、県下商工会長をはじめとする71名が参加した。

大会では、アベノミクスの実行により、大企業を中心に景気は回復基調にあるが、中小・小規模事業者は原材料高等や人材不足等によるコスト増と販路の維持、拡大ができないなど依然として厳しい経営環境に置かれているとの認識のもと、今後「小規模企業振興基本法」に基づき小規模事業者政策の光が当たるよう引き続き政府に求めた。



全国大会で挨拶する石澤会長

◆大会決議◆

1. 地域経済を活性化させる、力強い景気対策の実施
1. 小規模事業者対策の拡充・強化
1. 中小・小規模事業者の力による地方創生の実現
1. 中小・小規模事業者の活力に資する税制・社会保障の実現
1. 東日本大震災・原発事故からの復興の加速化
1. 商工会の支援サービスの更なる充実

◆沖縄県の受賞者等は次のとおり◆

中小企業庁長官表彰

- ・役員功労者 1名
- ・優良商工会 1商工会

全国商工会連合会会長表彰

- ・役員功労者 25名
- ・青年部功労者 1名
- ・優良常勤役職員 2名

事業推進優良商工会等表彰

- (商工会法施行55周年特別枠部門)
- ・会員増強運動 1商工会

感謝状

- ・前沖縄県商工会連合会会長 照屋義実

◆視察研修◆

～群馬県・埼玉県～

全国大会終了後の11月20日から22日まで参加者29名による視察研修を実施した。

群馬県富岡製糸場の世界遺産登録後の観光施設の活用方法とその近隣地域の甘楽町商工会の地域活性化の取組みとして、㈱ヨコオデイリーフーズの地域資源を活用した特産品等開発を研修した。また、埼玉県川越市における歴史的町並みを活用したまちづくりの取組みについても研修した。



㈱ヨコオデイリーフーズの工場で
甘楽町商工会 横山会長と意見交換

ニッポン全国物産展

〜沖縄県ブース大盛況〜

11/20(金)〜22(日)の三日間池袋サンシャインシティでニッポン全国物産展が開催された。会期中は多数の来場者が沖縄の物産を目当てに来場され、沖縄ブースは大盛況。おらが自慢のフードコートでは北中城のアーサ沖縄そばが最終日には売切れてしまうほどの人気ぶりであった。

また、全国おやつランキングでは沖縄代表のアセローラフレッシュ(本部町)の「アセローラフローズ」が沖縄県勢初のグランプリを獲得、むらおこし特産品コンテストでは、琉球インタラクティブ(宜野湾市)の「紅芋とちんすこうのフローズ」ちんすこうキ」が審査員特別賞を受賞と、沖縄県の商品レベルの高さを示す結果となった。



ニッポン全国おやつランキング グランプリ獲得



(株)アセローラフレッシュ
(本部町)



「沖縄から悲願のおやつランキンググランプリが誕生しました！事前に万全の準備をして臨んだおやつランキングだったということ、会場内でのアセローラフレッシュの社員皆さんの笑顔や商品PRはとても際立っていました！本当におめでとございます!!」

ニッポン全国物産展に出展した琉球インタラクティブ株式会社の「紅芋とちんすこうのフローズ」が平成27年度むらおこし特産品コンテストで「審査員特別賞」を受賞した。

本コンテストは、むらおこし事業や全国展開支援事業等によって開発された優れた地域特産品を全国に広く紹介する契機となるもので、今年は86品からの受賞となった。



むらおこし
特産品コンテスト
「審査員特別賞」受賞

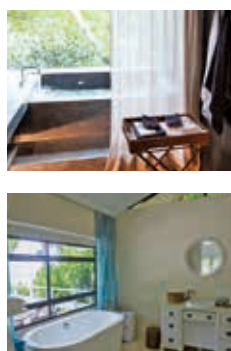
地域ビジネス育成強化事業 戦略的経営管理普及促進支援

9月から本格的に支援がスタートした本事業は、小規模事業者等に管理会計の手法を元、自社の経営数字を把握するための自計化、事業計画の策定、進捗状況の管理、計画対比分析等、経営に必要なPDCAサイクルを定着させることを目的としている。今年度は、32社の事業者が採択された。

その中の1社「Bith the suite」(本部町備瀬484。http://www.bith-bise.com/)は、代表の中村さんが偶然訪れたフクギ並木と伝統的な集落に惚れ込み、2013年、一日一組のみをおもてなしする高級ヴィラをスタート。更に、2015年4月には、同じ備瀬集落内に、海辺の生活をテーマにしたレストラン&ヴィラ「ULTRA BLUE」(http://www.hukugi.com/)もオープン。首都圏の富裕層に向けて非日常体験を提供している。



本支援を受けて、「日々、本物の豊かさを求めるお客様を迎えることに追われ、これまで経営や数字に関することは確定申告の時に見るだけで、事業計画すら作成できていませんでした。本事業に採択されたことを契機に、事業計画の必要性、売上・経費管理の重要性に気付き、日々、経営状況が確認できる基盤ができつつあります。また、来年から本格的にスタートするウェディング事業の立上げに関しても、しっかりとした事業計画の基、具体的なアクションプランを立てて確実にスタートできるように取り組んでいます」と中村さんは話していた。(中村代表談)



「持続化補助金採択者の声」

「真空包装機を使った2次加工品の販路開拓」

事業所名…大城野菜生産農園加工所

代表者…大城 清美 (南風原町商工会女性部副部長)

生産物…カボチャ・ゴーヤー・ヘチマ(美瓜)・ニラ・タマネギ

当社はこれまでカボチャ・ゴーヤー・ヘチマ(美瓜)・ニラの生産を手がけ農家として生計を立てていたが、規格外の活用や付加価値商品の開発が課題となっていた。

当初は生活研究会の支援を受けカボチャ粉末などを委託加工していたが、ファブレスという事もありコスト面や生産性が向上せず苦慮する日々が続いていた。その中で南風原町のファーマーズマーケットOPENを目前に自社加工所を設け商品開発に日々奮闘する毎が続いていた中、商工会の職員が持続化補助金の情報を提供した。

持続化補助金を活用できた事で、従来から取組みを検討していた「真空包装機」を使用したカボチャのペースト加工に挑戦する事が出来た。

カボチャペーストは飲食店を中心に需要があり売上に大きく貢献する商品となった。又、真空包装機を導入出来た事で商品開発や顧客需要に応えられるようになった。

持続化補助金の採択を受け、代表者の大城氏は「今回は持続化補助金に背中を押して頂き、新たな挑戦に向かう事ができ、顧客需要を把握できた事は自信にも繋がり、平成27年度ありんく



産業支援資金

かいぎん

トリプル旋風

無担保の場合

最高

1,000万円まで

担保付の場合

最高

3,000万円まで

沖縄の「トリプルK(観光・健康・環境)」事業に
必要な資金を積極的にサポートします!!

創業・新事業の方も
ご相談下さい。

観光
関連資金

環境
関連資金

健康
関連資金

◆ネーミングの由来 3産業が沖縄のリーディング産業として県内外に旋風(つむじ風)を
起こすようにという願いをこめて

—— 県内の産業〈観光・健康・環境〉を力強くサポート! ——

◆商品概要

ご利用 いただける方	県内にて事業を営む法人・個人事業者の方
お申し込み	トリプルK(観光・健康・環境)関連産業に必要な事業資金。 〈主な3関連産業〉 観光 観光関連施設(民泊事業など)、レンタカー、ガソリンスタンド、パークینگ、マリネジャー、お土産品店、沖縄の産物、観光客が利用する飲食関連(コンビニ・スーパー・食堂・レストランなど)、その他観光関連事業に必要な資金 健康 健康食品・健康機器製造販売、医薬品・化粧品製造販売、健康食品・健康機器販売、介護関連事業(デイサービス・介護老人施設など)、医療関連事業(一般的な診療病院・はり・マツサージ・歯科)、スポーツ関連施設、その他健康関連事業に必要な資金 環境 新エネルギーに関連(太陽光・バイオマス・風力・地熱・水力)、リサイクルビジネス(容器包装・家電・食品・建設など)、省エネ設備(空調機器・換気・電灯・照明・冷蔵・冷凍設備、断熱材)、環境対策設備(廃棄物の排出抑制・再生利用にかかる浄化・廃熱利用・節水設備など)、その他環境関連事業に必要な資金
ご融資金額	無担保 50万円以上 1,000万円以内 有担保 100万円以上 3,000万円以内
ご融資期間	無担保 運転5年以内(据置3ヶ月)、設備7年以内(据置6ヶ月) 有担保 運転10年以内、設備20年以内(据置12ヶ月) ※但し、設備の場合は投資対象物件の法定耐用年数の範囲内とします。
ご融資利率	当行所定の利率(変動金利) ※詳しくは窓口までお問い合わせください
ご融資形式	証書貸付
ご返済方法	元金均等月賦返済、元利均等月賦返済
保証人	法人の場合 代表者または実質的な経営権を有する方(会長、相談役等) 個人事業者 原則不要
ご相談に 必要な書類	法人の場合 決算書類一式(2期分か1期分) 代表者の運転免許証またはパスポート等 個人事業者 確定申告書(2期分か1期分) ご本人の運転免許証またはパスポート等 ※その他の資料をご用意いただく 場合がございますのであらかじめ ご了承ください。

詳しくは海邦銀行窓口または営業担当者へお申出ください。

※お申込にあたっては当行所定の審査をさせていただきます。ご希望に沿い兼ねる場
合もございますので、予めご了承ください。

KAIHO 海邦銀行
http://www.kaiho-bank.co.jp/

301人以上の労働者を雇用する事業主の皆様

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が平成27年8月28日に成立しました。

301人以上の労働者を雇用する事業主の皆様は平成28年4月1日までに、①自社の女性の活躍状況の把握・課題分析、②行動計画の策定・届出、③労働者への周知・外部への公表、④情報公表などを行う必要があります。

女性活躍推進法、事業主行動計画の策定等に関するお問い合わせは

沖縄労働局雇用均等室へ

TEL 098-868-4380

〒900-0006

那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎1号館3階

厚生労働省ホームページ(女性活躍推進法特集ページ)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>



小規模企業の
経営者の
みなさまへ

小規模企業
共済制度

経営者ご自身の 「現役引退後の生活資金」のことを お考えですか？

こんな悩みにお応えします

「年金だけでは不十分で、不安がある」
「自分で積み増しするには、どんな
ものがあるの？」

小規模企業共済は、「小規模企業経営者の
ための退職金制度」です。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします。



加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

将来、「廃業」「役員退任」等が生じた
ときに共済金を受け取れます。

現役引退後の安心した
生活設計が図れます。



すでに本制度に加入されている方は…

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に
設定できます。(500円きざみ)

●本制度の詳しい内容は、パンフレットを必ずご覧ください。



ポイント

1. 常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業
5名以下)の個人事業主、個人事業主の共同経営者、又は
会社の役員の方が対象です。
2. 毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば、課税対象所
得400万円の方ならば約11万円の節税になります。
3. 「小規模企業共済法」に基づき運営されています。



▶現在の掛金月額が7万円に達してい
ない方は、増額をお勧めいたします。

※掛金月額増額申込書がお手元に無い場合は、下記の共済相談室へ
ご請求ください。

共済制度の運営機関



中小企業と地域振興をもっとサポート

独立行政法人

中小企業基盤整備機構

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室 TEL 050-5541-7171

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

小規模企業共済

検索